

第 8 回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第 8 回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和 2 年 2 月 10 日（月） 午前 9 時 58 分～午後 12 時 05 分
場 所	杉並第二小学校 1 階 音楽室
出 席 者	懇談会委員 14 名
傍 聴 者	2 名
次 第	1 開会 2 杉並第二小学校改築基本設計中間まとめ説明会報告及び懇談会案の変更 について 3 その他 5 閉会
資 料	資料 1 校舎改築基本設計の中間まとめ説明会等でいただいた主な ご意見・ご質問と回答 資料 2（1～7） 懇談会案 変更①案 資料 3（1～5） 懇談会案 変更②案（参考） 参考資料 杉並第二小学校諸室・校舎規模（諸元表）

司会	<p>それでは少し定刻より早いですが、本日は杉並区立杉並第二小学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>杉二小は 2 月 3 日が開校記念日で、この間の 2 月 8 日の土曜日に子どもたちの記念集会を実施しました。また、その後で、保護者とともにつくる記念授業ということで、今までの卒業生の方や同窓会の方も招いて、子どもたちに特別授業を行っていただきました。</p> <p>本日は 2 時間を目安に進行ができればと思っております。ご協力をお願いいたします。</p> <p>また、本日も傍聴の方がお見えになっておりますが、懇談会開催中の私語や不規則発言などはお控えくださいますようお願いいたします。円滑な進行のためにご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
----	---

<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>おはようございます。資料の事前配付をさせていただいたのですが、まず、次第が1枚と、資料1の中間まとめ説明会等でいただいた意見と、資料2が新しい懇談会の修正案、資料3が懇談会の変更案の②、あとは参考資料として諸元表ということで、今回の計画に当たってこれをもとにこちらのプランを策定したのになっています。</p> <p>お手元に皆さん、ございますでしょうか。</p> <p>資料の配付とは直接関係がないのですが、今、埋蔵文化財の調査をしております、体育館の南側のあたりから古墳時代の竪穴式住居と土師器という土器片が出ました。また、校庭から縄文時代の落とし穴が見つかったということです。</p> <p>この土地は、埋蔵文化財の業者の話では、体育館の方から校庭に向かって少し斜めに下っていて、どの辺かわからないのですが、崖地になっていたのではないかとのことでした。縄文人はその崖地の手前ぐらいに落とし穴をつくって、獲物をとっていたという話がありました。これ以上詳しい話は私のほうではできないのですが、そういう土地の記憶がある場所だということで、そういうのも今回の改築で未来につなげていければと思っていますところ。</p> <p>少し夢のある話から、現実的な話をしますと、それに伴って、工期が延びてしまうということで、まだ範囲によるのですが、半年から10カ月程度は延びてしまう可能性がありますので、あわせてご報告させていただきます。</p> <p>以上です。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは次第の2番、事務局のほうよろしく願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>続きまして、資料1をご説明させていただきます。</p> <p>前回、12月の懇談会を経まして、中間のまとめの説明会を12月18日に保護者向け、19日に地域向けの説明会を開催させていただきました。18日は19名のご参加、19日は26名のご参加をいただいたところです。</p> <p>主なご意見といたしましては、懇談会でもありましたように、冬季における校庭の日影への影響は4～5名ほどご意見をいただきました。また、それ以外にも通学路のことや、工事期間中の安全対策、西側住宅への圧迫感などについて、ご意見が出たところです。</p> <p>詳細につきましては、資料1をご覧ください。資料1の説明については以上です。</p>
<p>学校設備課長</p>	<p>私、学校整備課長から追加の話をさせていただきます。</p> <p>前回の11月の懇談会、A´-2ということでまず一旦決めさせていただきました。それに基づいて12月に、今、係長から話があったように、地域と保護者向けの説明会を開催いたしました。11月の懇談会の最後のところでもお約束させていただきましたが、日影の影響について、かなりご意見をいただきましたので、この設計案については何らかの改善、改良を、私どもの営繕課、さらには設計会社と詰めてお示しができればと思っていますと、まず約束をさ</p>

	<p>せてもらったのが1点。</p> <p>あとは12月に行った2回の説明会の中でも、かなりその辺を懸念されるご意見が多数寄せられましたので、それも踏まえた上で今回、いわゆるA´-2の変更案としてお示しをさせていただいて、改めてご説明しようという趣旨でございます。</p> <p>とはいうものの、今まで懇談会の中で議論を重ねてまいりました案については、当然、学校の改築に当たっての基本方針といったものを合意形成してつくった、それをもとに反映した案ということでございますので、それを変更することによって影響が出てくるというのがございます。</p> <p>とはいうものの、日影の問題は非常に大きいというのがありますので、まず変更案でその修正について、さらに参考として変更案の②というのをやっておりますので、それではさらに日影への影響を配慮した案ということでご説明をさせていただきますので、全て一連の流れでご説明をさせていただくということになりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>資料2、資料3をご覧ください。変更の2案について、私のほうから簡単に説明させていただきます。</p> <p>まず、今、課長からの話がありましたとおり、これまでの議論や、改築基本方針、今までいただいたアンケート等、もう一度見直しをして、コンセプトをぎりぎり維持しつつ、日影をさらに改善できるプランはないかということを中心に内部で検討したものです。</p> <p>まず、いずれの案につきましても、校舎と体育館を一期で工事をするという前提条件で作成をしているところです。①案につきましては、A´-2案と比較しますと、グリーンテラスを調整して、そこに諸室を設けたことと、図書室が約40平米程度、A´-2案より狭くなっていますが、現行の図書室よりは広くなっております。また、地下部分の面積を増やしたことで、校庭の日影を低減いたしました。</p> <p>続いて、②については、主として地下部分と4階部分を増やして、縦と下に伸ばして日影部分を低減した形になります。</p> <p>詳細につきましては、石本建築事務所からお願いいたします。</p>
<p>石本建築事務所</p>	<p>それでは、修正した案の変更①案の説明をさせていただきます。</p> <p>変更①案につきましては、これまでの懇談会で検討してきた案の3つのポイントを保持し、変更しています。</p> <p>1つ目は、体育館を含めて校舎を一期でつくるという配置計画とすること。</p> <p>2つ目は、鎌倉街道と善福寺川緑地をつなぐ動線を設けること。</p> <p>3つ目は、学年のまとまりを持った教室配置とすることです。</p> <p>12月の説明会では校庭に落ちる日影についての意見が多くありましたので、順番は逆になってしまいますが、まずは日影についてご説明させていただきたいと思います。資料2-7「冬至における終日日影図」をご参照願います。</p> <p>終日日影といいますのは、冬至の日において1日直接太陽が当たらないとい</p>

うこととなります。左側にこれまでのA´-2案の終日日影を記載しています。右側は今回、変更①案の影がどのように変わったかの説明となります。

以前のA´-2案を整理し、体育館を離れてのほうで14メートル、短手のほうで9メートル離して、ほぼL型に近い状態に変更しております。その結果、ピンク色の部分が、減少した部分となります。変更によって、終日日影がかかる部分が、グレーの部分になっております。12月二十何日という冬至のときであったとしても、校庭にかかる影が少なくなって、児童の活動する範囲に影響が少なくなっていると考えています。資料2-6になります。これは建築基準法の2時間、3時間規制という日影を参考につくってみましたのでございます。A´-2案が左側、変更案が右側になります。西側の近隣による影が大分敷地内におさまっています。それと、校庭は、3時間日影についてもトラックに影響が少なくなっています。

A´-2案、資料2-4です。これは、A´-2案の冬至における時刻日影です。8時から16時の1時間毎の影です。9時の段階で道路を越えて西側の近隣のほうに影が落ちる状況でございました。10時の段階ではトラックに影が落ち、11時の段階でもまだ落ちるところでございました。

資料2-5が変更①案になります。9時の段階で西側の近隣にかかる影はもう後退してかからないようになっております。10時、11時の段階では、10時は若干、周回トラックのほうに影が落ちている状態ではありますが、11時の段階ではもうかからない形で、児童の活動に影響がないという影の状況になりました。

続いて、A´-2案変更①案について、調整した計画の内容についてご説明いたします。資料2-1をご参照願います。1階より順次、説明させていただきます。

まずこちらの体育館ですが、ステージの向きを変えて、アリーナが校庭に向き合うような形にして、9メートル、14メートルの空地を西側に設けまして、近隣への圧迫感を軽減するようにしております。空地部分には防災井戸やマンホールトイレを整備し、A´-2案では2階だった学校防災倉庫を1階におろして、より災害時の活動に配慮した計画としております。

また、東側から大階段を経て、昇降口に至るところ、これをまっすぐ行くと鎌倉街道まで延ばしまして、緊急時の車両、あるいは災害時の車両が利用できるような配慮もしております。こういった整理によって、校庭につきましては、A´-2案のほうではガタガタしているところがあったのですが、なるべく整形で使いやすい校庭に調整しております。

体育館の東側につきましては、家庭科室、理科室、図工室といった特別教室エリアというものに整理しております。2階、3階には図書館と普通教室を置くようにしております。

特別教室ですが、全体の教室が多くなっていきますと休み時間の入れかわりのときに廊下が混雑しやすくなることと、将来的に地域開放に利用することが

可能かなということにも配慮しました。

もともとA´-2案では保健室はこちらのほうにあったのですが、アプローチ道よりも北側にまとめて教職員関係の連携が図りやすいエリア構成に調整しました。

続いて、2階、3階、教室フロアとなります。

図書室と上階のグリーンテラスを緑地公園側に置いています。そうすることで善福寺側緑地公園との関係を維持することに配慮しながら、体育館を移動によってフロアの縮小調整というものを行っております。将来、教室が増えた場合でも、隣接する少人数教室や多目的室を使って、各学年とも学年スペースを囲む形で維持できるようにしております。中間階となる2階の主階段近くに図書室を置き、児童の本への親しみやすさにも配慮しております。また、緑地公園に面するように周辺環境とのつながりを大切にしました。

動線計画につきましては後ほど説明させていただきます。

続いて、資料2-3、4階、地下1階となります。4階はA´-2案と同様にプールフロアとしています。地下1階は給食調理場、学童防災倉庫、地域開放会議室を置いて授業時間内においても影響が少ない配置としております。なお、特別教室のうち音楽室については、ウインドバンドの楽器の搬出入に考慮して、東側道路からの直接出入りに配慮できる配置に見直しております。

以上が平面図、資料についてのご説明となりましたが、平面図では説明が不足する部分がございますので、写真やパースの補足説明資料を使ってご説明させていただきたいと思っております。

今回、変更案を作成するに当たり、杉二小改築に関する諸条件と取組姿勢、ビジョン1の「学びや遊びが楽しく長く、使い続けられる学校」ということ。ビジョン2の「自然にあふれ、安全で居心地のいい学校」にどのように配慮しているかということを具体的に、平面図ではない形でご説明させていただきたいと思っております。

まず、もう一度、調整案を考えるについて、改築計画上の主な諸条件と取組というものを考えてみました。主に4つございます。

1つ、基本的な諸条件としましては、改築基本方針に即した計画、敷地の高低差を生かした計画、道路の拡幅、歩道整備。こういった基本条件がありました。

2つ、建築関連法令の条件としましては、有効面積、厳しい計画上の上限床面積、容積率というのがあるのですが、これを最大限活用すること。それと、許可申請の適用となりますが、高さ制限に配慮する。その他、法令・条例への配慮ということで、特に今回については緑化条例というのがございます、1万1,000平米の敷地に対して2,500平米ぐらいの緑化を考えなければならないということもございます。

3つ、建替工事、手順上の条件としては、工事期間の短縮化、工事中の既存校舎の活用、そして運用しやすい仮設校舎計画ということ。

4つ、学校運営上の諸条件としましては、広い校庭を確保してほしい。将来に対する教室の確保。併設施設とのゾーニングというのが主な条件。

それに対して、私どもにつきましては、諸条件を必ず満たす。そしてこれらをバランスよく調整しながら計画すること。これを大切にする改築計画としたと思っています。どこか1点を特出しにするような計画にしていくと、どこかが犠牲になりかねない状況があると考えています。

先ほどのビジョンの1、2の関係なのですが、ビジョン1、2としては、こちらの部分、それと目標の部分ですが、特に多様な学びの場というもの、それと目標3、善福寺川緑地の両方の周辺環境の調和を大事にすることについて今回整理してみました。

工期が短く、学習環境や景観支援寄与というところで、いろいろな条件を含め、今回このL字型という敷地になりました。これを生かすということですが、私どもにつきましては、余りの場所ではない、ここでしかできないことをやるのだということで計画を進めることにしています。

モデル的に表現してみました。校舎についてはこのL型で、両端部と中央に空間が生まれるということ。この形によって内側と外側ができる。そして、くぼみができて、最後にはこれによって求心性を持つという形になると思っています。

内部環境につきましては、3つのエリアを生かすこの中央端部というものを生かすということで、この中央端部、学年のまとまりをそれぞれ設ける。それとわかりやすく階段を設けていくということ。それと動線についてはこの真ん中の階段、端の階段をつなぐような形で、見通しのきくわかりやすい廊下にすることが大事だと思っています。

外部環境につきましては、このL型を使って、内側、外側、これらの空間的な連続性と校庭が持つくぼみ、そして求心性というものについて大事にしていきたいと考えております。

内部環境につきまして、3つのエリアを生かす計画ということで考えております。第6回の懇談会でA´-1案、A´-2案、教室の配置の考え方ということで、A´-2案が採用となりました。この違いですが、A´-1案につきましては学年のまとまりが直線状に配置ということだったのですが、A´-2案につきましては、学年単位が学年スペースを中間において向かうような形でエリアをつくっていくところがまず評価されたところがございます。

それと、懇談会の中でお話があったのが、学年を経ながら、教室が変わっていくということ。これによって周辺環境を理解していく子どもたち。こういったことで評価されたのだと思っています。

今回の教室フロアの考え方となります。調整によって前回よりもより中央端部というエリアが整理されたところがございます。より学年スペースを中心に、学年のまとまりというものが形づくられるということになりました。

2階、3階に教室フロアを置くことがありまして、1階は昇降口があったり、

ざわつくところではあったのですが、2階、3階の落ち着いたところに教室フロアを置くというところで、子どもたちの安心感に配慮した。そして、フロアになじむエリア構成ができることに配慮しております。

調整ポイントとしては、善福寺川緑地公園とのつながりを維持しながらまとまり感を整理しました。それと、特別教室については1階に置いて、使いやすく落ち着き、安心感の高い教室フロアにしております。

動線計画について説明させていただきます。主階段と昇降口をこの形のちょうど真ん中に置くということで、わかりやすさに配慮しております。そして、両端部には副階段、サブの階段を置いて、これらを見通しのよい廊下でつなぐということ。これによる児童の安心感と自分の居場所のわかりやすさというのが感じられやすい校舎を目指しております。

引き続き内部環境ですが、学年スペースのイメージということで、教室があったりするのですが、試しにつくってみました。下のほうが私どもの学校の実績の中で実際にできた共用部分、学年のまとまりの中央部分というものになります。これがその共用部分ということになりますね。廊下に膨らみを部分的に持たせて、水回りの関係性を良好なものにして、児童間でのコミュニケーションを高めるつくりチャレンジしています。子どもたちも、実際に見に行くと、生き生きとして喜んでいるということが、私どもとしては非常にうれしかったというところがあります。こういう形で多様な学習環境に配慮することを大事にしたいと思っております。

ついではございますが、参考として図書室、特別教室、共用エリアというところで何点か挙げたいと思います。

図書室。こういった形で、木部を生かしながら変化に富むような楽しい図書室というもの。それと特別教室、これは中間の廊下周りになるのですが、こういった形でメディアと呼んだりもしますが、これは例えば理科なのですが、各学科により興味を持っていただくという仕掛け。

それとこちらについては体育館周りの事例でございます。こういった形でサインや、こういった余白のスペースを使いながら、各室の案内というものに対してもこういった工夫。それと、これは体育館の事例。ステージのところにあるのですが、実際暗くて閉鎖的なところというのはあるのですが、校庭やそういったところの関係性。ここに教壇を立ててお話をするというのもできるという形で、つながりのある配慮についていろいろやってきた。そういう形で多様な学習空間というものを今回もやっていきたいと思っております。

続いて、外部環境、周辺環境との連動的な一体感。これはビジョン2になります。

外観は試しに起こしたということで、これになるわけではございませんが、L型の今回の図面に合わせたボリュームという形で配置してみました。

校庭から見ると地上3階、4階にプール。こういった屋上が目隠しの機械置場、手前には体育館、こちらにアプローチ道という形、手前には校庭という

こととなります。こちらについては既存の校舎がありますが、既存の校舎がなくなって、今回については北側の住民にも配慮し、緩衝の緑地帯というものを設けていきたいと思っております。

校庭ですが、校庭は鎌倉街道よりも約1メートル下がる計画と。今回、敷地の調整上、そのようにしたいと思っております。現状2メートル近く下がっていますが、校舎の基壇になっている土や、そういったものを整理しながら、何とか1メートルぐらいの高低差の違いというものも配慮していきたいと思っております。それによって見渡しのきく、広がりのある風景が、この鎌倉街道のところに生まれていくこととなります。

校舎についてですが、L型、特徴的なものとして鎌倉街道に伸びるボリューム。それとここの隙間にはもちろん配慮しています。それと校庭側に奥まるボリューム。この2つと、東西のアプローチの動線。これらの動きが感じられるところによって、形の持つ求心性のようなものが生まれて、校庭が大きなくぼみという形で校庭が出てきます。そして、これを見ると、引き込み感を生み出すような一体感というものがこの近隣でも感じられるということにしたいと思っております。

緩衝緑地帯の北側のほうに整備します。そして、今回についてはここが空いています。この緑地帯に視線をいざなうように、緑地公園への視線の抜けというものが感じられる。こういった形でL型校舎の少ないボリュームの形を生かして、周辺環境と連続的の一体感のある景観をつくっていききたいと思っております。

これは鎌倉街道側から善福寺緑地公園が見える計画。場所としては今の既存の校舎の入り口、アプローチに近いところ。ちょっと色が変わっていますが、ここが善福寺公園が抜けて見えるところになると。それと、先ほどの鎌倉街道側からの東西アプローチの見え方ということになります。

ここに本当は1階に渡り廊下的なところがあるのですが、なるべく透明感が感じられるような廊下にするので、この奥がさらに見えることにならないかなということで、今、検討しています。

続いて、今度は善福寺公園側の見え方について説明したいと思います。建物については地下1階があって、地上3階、目隠しの機械置場と4階のプールが奥のほうにあります。私どもはここでこれを見たときに思ったのが、いかにこの校舎のボリュームを小さくするか、この幅を狭くして、かつ、高さについても3階になるべく抑える見え方、こういったものに配慮しないと、ここの景観は一体感が感じられないだろうと思っております。

東西アプローチ、この大階段、こういったものを使うこと、緩衝緑地帯の整備ということ、こういったことを考えて本当にコンパクトに感じられるようにしていきたいと思っております。

図書室、テラスによる、それと緑地公園との一体感というものを感じさせること。先ほど言いましたが、緑化、窓、ボリュームによって景観的ななじみと

	<p>いうふうなこと。なるべくボリュームを小さくする見せ方によって、なじみのある景観というものを公園側のほうにつくっていきたいと考えております。</p> <p>三年坂についてですが、こちらについては彩りのある樹木を校舎側のほうに配置して、歴史的な趣きのある整備というものをやっていければと思っております。</p> <p>三年坂については、現状、狭いところで道路の幅が2.5メートル。これを4メートルに拡幅する。それと2メートルの歩道を整備することが区の生活道確保のための整備ということで進められることになっています。</p> <p>車が通るかどうかというのは、これからの協議がございしますが、こちらについてはこういった歴史的趣きといったものが感じられる流れということで、緑地帯、それとこの中央道、それと三年坂の歴史的な流れ。この3本の線を生かして、鎌倉街道側と善福寺緑地公園側、この3つを結ぶような、あまり大きくないボリュームで地域の連続感や一体感というものが感じられるようにしたいなということで、ビジョン2にかなう計画としていきたいと思っております。</p> <p>これはなるべく近いイメージ例ということで探してみました。これに全く似せるというわけでもありませんが、なるべく近いものということで持ってきました。三年坂のイメージ。四季折々の木、桜であるやもみじであるや、そういった季節の流れのようなものが感じられるもの。それによって歴史観があらわれるような構成になるといいなと考えております。</p> <p>北側のビオトープ。段状の緑化ということで、これについては北側の公園側のところにつきましては、北側の敷地との高低差ということをなじませるためにも段状にしてはどうかというところで考えている次第でございます。</p> <p>以上、変更①案の説明となります。ご清聴ありがとうございます。</p>
<p>営繕係主査</p>	<p>続きます、変更②案についての説明をさせていただきます。資料3-1から3-5を使ってご説明させていただきたいと思っております。こちらは、基本的にはこの紙を見ながら話を聞いていただければと思っております。</p> <p>まず、変更②案の資料3-1をご覧ください。変更②案の建物の配置条件としましては、変更①案と同様に既存の北校舎を残して工事を行い、一期で工事を完了することを条件としています。その上で、変更①案よりさらに西側との離隔を確保して、校庭への日影の影響を低減することを重視するとどのような計画が考えられるかを検討しております。</p> <p>変更②案の特徴としましては、A'-2案と同様のL型配置のまま、敷地西側からの離隔距離を24メートルから37メートル程度確保しているところになります。</p> <p>続きます、資料3-2の各階平面図をご覧ください。地下1階及び4階の平面図についてご説明いたします。</p> <p>建物の平面をコンパクトにしたため、地下1階を拡大し、さらに4階に特別教室の2教科分を配置する計画としています。この地域は低層な住宅地域であ</p>

	<p>ることから、なるべく高さを抑える必要があるため、これまでの検討案としましては、全て地上3階までに諸室を配置し、屋上階につきましてはプールの付属諸室だけを配置していましたが、この案では西側を開けることを目的に、平面がコンパクトになった分、特別教室が4階部分に移動したような計画となっています。</p> <p>同じ資料の2階及び3階の平面図をご覧ください。変更①案同様、2階及び3階に普通教室等をまとめております。学年のまとまりが確保できるような普通教室の配置としましたが、今後、クラス数が増えた場合には、同じ学年だけれども教室が離れてしまうクラスが生じることも考えられるような普通教室の配置となっております。また、特別教室が地下1階と4階に分散して配置していることから、生徒の縦の移動距離が長くなることが考えられます。</p> <p>資料は飛びますが、次に資料3-5をご覧ください。資料3-5は先ほどでもご説明しましたが、A´-2案と終日日影の面積を比較した資料になります。右側のピンク色のところが変更②案で削減した校庭に落ちる日影の面積で、500平米程度。建物が後退したことによる面積が茶色の部分によりまして、780平米程度。合わせて約1,300平米程度のスペースを生み出していることとなります。変更①案よりさらに終日日影を削減していることが確認できます。</p> <p>これまでのA´-2案の構成を保ちつつ、最大限、校庭への日影の影響を少なくした変更②案について説明いたしました。辺・面がコンパクトになった分、上下方向に建物が大きくなり、縦動線が長くなっております。また、学年のまとまりも余裕がなくなるなど、これまでの懇談会で皆さんに話し合っていた内容からは一部違ってしまうところも生じておりますが、参考案の1つとしてご議論いただければと思います。</p> <p>A´-2案の変更②案については、簡単ですが、説明は以上になります。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。今までの議論を生かして、修正案とイメージ大変わびっくりしているところなのですが、さらにわくわくするような提案で、本当に驚きました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、これまでのところで何か不明な点、質問などありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>皮肉を言うつもりは全くありません。今日初めて、日影に関してちゃんと真面目に説明していただいて、ありがとうございました。これはもう3カ月ぐらい前から毎回毎回お願いしていたのです。</p> <p>前回、A´案に決めたときに初めて出されたのですが、それまで2時間、4時間で1本線を、2本線を引いてあるだけで、物は見ようですけども、嘘ではないのですが、あの線を見たとき、大体、内側は2時間ぐらい当たるのだなと誤解するわけです。要は、真っ暗な、1回も日が当たらないところを出して、それで、A´案で行こうと言ったのは、よかったのではないかなと少し思います。</p> <p>今日説明されたのは、私はプロとして大変感心しました。要はバリエーショ</p>

	<p>ンです。平面プランというのは、ブロックプランを決めるときは悩みに悩んでやるべきなのですから、一旦これで行こうと決めたら、今日見てさすがにプロだなと思いました。大変夢のあるお話だったです。</p> <p>ずっと経緯を振り返ってみますと、全ての会議に出ましたし、議事録も全て読んでおります。精読しております。途中で、A´案で行こうと言ったときに、そのとき次の回にA-1からA-2、A-4という案を見ました。このA´-4というのは、お父さんの会から来たのですけれども、お父さんの会から後で聞いたのですけれども、そのとき面積図もいただいていたので、適当に決めたと。これをこの懇談会では、結局、面積が全く合っていないのでということで、そのまま否決されました。</p> <p>そういう意味で、ずっと見ていますと、今日なぜ懇談会案①、②と名前をつけ直されたかというのが非常に政治的な思惑があったのではないかと私なりに思うのです。それはよしとしても、要は、変更②案といいますと、東側に寄せている。これはお父さんの会で出されたものとよく似ている。いっそのこと東側に建物をずらっと並べれば、午後から日当たりは全く関係なく、ずっと午後からは全てグラウンドに日が当たるわけです。ここまで石本建築事務所さんがプランニングを、本当に夢のあるものにされるという実力を持ってらっしゃる。私は現役のときから石本建築事務所さんを知っておりますし、大変立派なところだと思っております。</p> <p>そのため、そういう意味で、実際に東側に寄せた案というのも、もう一度考えていいのではないかと。なぜこういう迷走をしてきたかといいますと、これは逆に言いますと、石本建築事務所さんに大きな責任があると思うのです。事務局がこういうふうに行こうと言ったときにちゃんと言うべきだったのです。日影の話はかくかくしかじかだと。私は、ぜひお願いします。何度もお願いしている。</p> <p>ということで、むしろこの番号をつけるのはいいのですけれども、時間がないとおっしゃいますけれども、これはおつけ仕事で、私も大手のゼネコンにいましたからわかっています。設計の人たちは徹夜でも何でもします。これはビジネスですからね。そのためもう少しやったほうがいいのではないかという意見です。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>先ほどお父さんの会の話が出たので、こちらのほうでご提案があるのですが、私たちが実は案を用意してまして、私たちというのはお父さんの会の、もしくはお父さん有志の案ということをして12月の懇談会で、ここで議論されたと思います。</p> <p>その修正案のようなことで、また新しく今度は保護者の有志の案となっているのですが、それを実はこちらのほうで用意しています。もし皆さんの了承を得ることができれば、こちらのほうで資料を配るとともに、5分間ぐらいの説</p>

	明をさせていただきたいと思いますが、皆さん、どうでしょうか。
司会	どうでしょうか。
委員	まるっきり違う案なの。
委員	<p>いや、まるっきり違う案ではないのですが、前回12月のこちらのところで、条件を満たしていないと言われたのです。その後の経緯を簡単に説明させていただきますと、その後に諸元表をいただいたのです。皆さんの手元にある諸元表なのですから、そちらをいただいて、あと、ほかのそういう条件も含めて伺いました。</p> <p>それで教育委員会の方たちと一緒に話し合っ、打ち合わせをして、それでいいアイデアがそちらのほうで出たもので、少し修正しました。その修正した後に、また協議会の方たちとお話をして、これでしたら条件を満たしますと言われました。1つだけ条件を満たしていないことがありまして、それは工期の問題がまだあると。工期が少し長いものと言われましたが、それも1つの条件の優先順位のことをこちらのほうで検討することができればいいと思いますので、ぜひこちらのほうで少し説明させていただきたいと思います。</p>
委員	委員に反論するようで申し訳ないのだけれども、あなたたちの案が採用できると思っているの。
委員	全くそれは思いません。
委員	<p>それだったら時間の無駄だから。あなたたちの案を聞く用意は私にはありません。というのは、今まであなたたちがやってきたことは、行政が8回もやっているのだよね。その間にあなたも最初から出てきて、最初の日に自分の案を出したよね。それがイレギュラーではないか。</p> <p>ということは、基本的にあなたの案を採用する、しないというのではなくて、お父さんの会の案をつくったのは、逆に、もしあなたの案を採用してしまったら、行政と契約した石本設計をないがしろにするということだよ。そうではない。</p>
委員	それはよくわかります。
委員	だったら、あなたたちの案はやはり基本的にはイレギュラーだと思うよ。
委員	確かにイレギュラーかもしれません。それはわかります。
委員	わかっているのだったら発表しないほうがいいのではないの。
委員	<p>私たちの主張という、今までのですと、条件がちゃんとわかっていない状況で決まってしまうというのが非常に懸念というか、こちらのほうがおかしいなど私たちは思ったのですね。この私たちが提供する案というのは、もちろんレイアウトは考えたいと思うのですが、その中で日影をできるだけ改善して、しかし、工期のことは問題であるということ認めてある案なのです。それで、できたらこの案とほかの案を比較して検討したいと思っています。それは我々の案が最もいいからということではなくて、今、2つ案が出ましたけれど</p>

	も、さらにもう1つの案を比較案として検討させていただきたいということ。
委員	ということは、あなたの案に賛成する人が出てきたら、やはり行政と石本さんをないがしろにするということだよ。基本的には。
委員	それは違いますよ。
委員	なぜ。
委員	<p>年末に、私、行き違いがあるかもわからないということで、役所に行って、部長と2時間お話ししました。そのとき学校整備課長も教育施設計画推進担当係長も同席されましたが、最後に学校整備課長が何とおっしゃったかという、「委員の方から全く案が出ないので、仕方なく我々が案をつくって出しているのです」と豪語されたのですよ。</p> <p>ということで、私は建設的な意見を多く今まで出してきました。全て握りつぶされているのです。したがって、行政の立場やそういう問題ではないのですよ。我々は行政のほうから頼まれてきているのではなくて、やはりいい学校をつくってもらいたいと。地元の人たちが、向こうに座っている方が、プロジェクトが終わったら、もう次のプロジェクトをされます。ずっと我々はこちらにいますけれども、これからこれをつくったら50年以上そのままですから、我々がもう生きている間は建替の話はしない。私はもういい歳ですけども、最後のご奉公をしたいと思って、この会に来ておりますし、特にブロックプランで全てが決まるというのが、私が何十年もやってきたときの持っていますからね。</p> <p>したがって、もう少しお互いに、要するに一緒に悩もうではないかというスタンスをやりたいということ。これは役所の方と一緒に悩みましょうと。建築は、現実と妥協しかないのですよ。立場や云々の問題ではなくて、本当にいい建築をぜひ杉二小にやってもらいたいと思ってやってきているわけで、立場がどうのこうのというのは大反対です。</p>
学校整備課長	<p>今の話で私の名前が出たので、誤解がないようにしていただきたいのですが、懇談会委員の人から意見が出ないからなんてことは言ったことはなくて、言ったのは委員が日影のことを大分おっしゃったけれども、ではやはり日影は大事だから、L型の案というのはどうなのかと。そこまで言う方は最終的にはいなかったのではないですかと。ただし、日影の案についてはいろいろご意見があったので、我々も修正案を今、設計会社の人とやっていますよと。そういう趣旨で言ったので、あたかもほかの人が何も言わないから、この案を出したようなのは語弊があるので、それはおやめいただきたいと思います。</p>
委員	<p>誤解があると申し訳ないので、もう1回説明しますけれども、この案というのは私たちが全てをここで採択してほしいや、そういうものではなくて、いい部分だけとってほしいということ。その中で、やはり比較することによって、さらにいい案ができるのではないかということ。この案をそのままということは思っていません。</p>
司会	委員。

委員	<p>実際、今日見せていただいたのは今までで最もよくて、最初からこういうレベルで欲しかったというのがあるのですけれども、ではなぜここまでよくなったかというのを考えると、多分にお父さんの会で頑張ってくられたのを吸収していただいているのだろうなど。影響を受けていないということは多分ないと思うのです。</p> <p>という意味で言うと、さらにいいのを思いついていますというのは非常に興味があって、それをぶつけることで、もし、またよくなる余地が残されているのだとしたら、聞く価値はあるのかなと思いました。</p>
委員	<p>北側で、今あるところで建て替えるとどうなるかというシミュレーション案はあったのですね。それは非常に面積を食ってしまって、つまり北側の日影を落とせないから、北側を下げざるを得ないから、南に張り出してきて、校庭が小さくなってしまうというシミュレーションがあった。</p> <p>いろいろなパターンがあったのですが、東側に全て寄せてというのはまだやっていないのではないかなど。その可能性をお父さんの会の案の中で出てきた。</p>
委員	<p>5つないのですよね。</p>
委員	<p>したがって、そこはやってみて、そうすると、日影が十分、本当に僕、今回は頑張られて、すばらしい提案、さっきの変更①案はいいと思うのですね。本当に非常に頑張っていたので、日影の問題もずいぶん解消された。だが、まだ残るのは確かなので、さらに日影を減らそうというシミュレーションもあってもいいはずですよ。</p> <p>ただ、恐らくそうすると、東側に寄せた場合、教室の中でのプランニングは非常に難しくなるだろうと、僕は想像しますがけれども。非常によくできているので。シミュレーションをやってみて比較するという工程をとって、結果的には今日ご提案のものとなれば、それは非常にみんな納得できる話なので、それをやってもいいのではないかと。説明をまずお聞きして、そのプロセスは踏んでもいいのではないかなど。</p>
委員	<p>委員に反論してしまって申し訳ないのだけれども、あなた、直に私とも話したよね。2回にわたって。私の言っていることはあなたも大人だからわかっていると思うのだけれども、基本的にはお父さんの会の言い分を、私が認めないのは、暮れの説明会があったときに、東側に南北に校舎をつくったでしょう。そのときの日影でデッドスペースができてしまうところ、その他、説明しましたよね。ただし、東側に校舎を建てたときに、あなたたちの主張は、あのときは完全日照だった。そういうふうに私は解釈していたわけ。ただし、東側に校舎を建てたら、日影図でわかるように、8時から11時ごろまで東側に建てても校庭には日影を落とすのですよ。</p> <p>それがわかっていたら、完全日照をあそこであなたたちは自分たちの意見を言って、集まった人はみんな素人だよ。午前中の3時間半ぐらいのことは一切言わなかった。ところが、素人は東側に校舎を建てたら、校庭が全て日照が確保できると思っているわけ。したがって、ある意味、あなたたちの説明不足。</p>

委員	<p>そうですね。それで、できたらここで説明をさせていただきたいということなのですけれども。一つ、もしかしたら私の間違いで誤解かもしれませんが、完全日照という言葉は私は自分では言っていないと思うのですけれども、もしかしてお父さんの会のメンバーがそういうふうに説明されたかもしれません。私は少しその辺はわからないのですけれども。しかし、確かに東のほうに寄せると、もちろん日影が当たるのは確かです。そのとおりです。</p>
委員	<p>委員、それは午後から日が当たると言ったのは、完全日照と言ったのは誤りかも知れませんけれども、それは素人だからといって完全日照だったからといって、全て日が当たると思ったかということ、それはそうではなくて、常識でしょう。午後から日が当たると言っているだけであってね。</p>
委員	<p>いや、そうではなくて。</p>
委員	<p>それは、日中、全く日が当たらないということ、これはぜひ示してほしいと言ったら、今日初めて事務所から出ましたよ。したがって、私は最初から、1時間も、1回も当たらないというのを必ず書いてほしいと。ところが、4時間や5時間や、そういう線を書いてあるから、パッと見た瞬間に、「こちら側は2時間ぐらい日が当たらないな」と誤解してしまう。</p> <p>したがって、やはり日照というのがずっとここで話題になっているのは、要するにもう後戻りできない、もう建ち始めているのだったら話は別ですよ。だが、私の聞いている範囲では、教育長自体が少し工期が遅れても構わないから、みんなが納得するところまでやりなさいと言ったと聞いています。したがって、ここで議論したっていいではないですか。今、委員が言われたように、案を聞いてみましょうよと言っていること、それがなぜだめなのですか。私は聞きたいな。</p>
委員	<p>委員は聞きたいと言うけれども、私はこの部屋から出るよ。申し訳ないのだけれども。</p> <p>基本的には委員たちの案は、一生懸命つくったことは認めるよ。しかし、プロセスが、あなたたちのやり方が、初めからもう全く懇談会を無視した形で進んできただろう、8回の間で。それはわかりますよね。図面が出てくるのが期日に間に合わない。そのたびにあなたたちの図面を前回までは見て、頭を働かせていたわけですよ。</p>
委員	<p>これを説明すると非常に長くなるので、短くしますけれども、最初に私たちが出した案、第1回目で出した案というのも、中村部長がこういうふうにいる意見を欲しいと言われたから出したと思っています。イレギュラーというふうに言われるのは、私は今びっくりしているのですけれども。そういうふうには部長から言われたから出しました。確かに直前に出したということは申し訳ないと思いますけれども、それもやはり私たちもみんな、フルタイムの仕事をしている者なので、なかなか時間がなくて、最後の最後で頑張っほとんど徹夜でやりました。そのためそれは本当に申し訳ないです。</p>

委員	<p>時間がないというのはあなたたちの言い分で、忙しいのは俺たちだって忙しいのだから。そのようなことは言いっこなしだよ。</p> <p>それと一番は、10月ごろにあなたたちの案が出てきたときに、副校長と校長が飛びついたのでよ、それに。「校庭が最も広くなるからこれにしましょう」と。それでA-2案に徐々に傾いて行って、どうするかということで来たのだけれども、基本的にはあなたの案を聞くより私などは、申し訳ない、これはもうそろそろプランが決まるのだから、さらに大事な話、例えば防災の話、震災救援所をどうしたらいいかというのが常に頭にあるのですよ。今でもいただいたプランでは、教室を取りかえたほうがいいのではないかとというのが私の考え。</p> <p>それから、防災倉庫のキャパの問題や、非常用電源をつくるや、そういう話が全くできないで、来月もう1回やったとしたら、そこまで行かないでしょう。で、新年度になってしまう。</p> <p>私としてはそういうところをもう少し詰めたと思っているわけ。</p>
委員	それはよくわかります。
委員	<p>したがって、プランニングはぶっつけ仕事でできるのですよ。各部署で使う方々からの意見を聞いて、石本建築事務所さん、本当に立派な会社ですから、ぱっぱと言ったら全て出す。</p> <p>したがって、これはぶっつけ仕事でできる。だが、ブロックプランに関しては決めたらもう動かさないです。したがって、それを何回も何回も、さらにお互いに納得するところまでやりましょうと、ずっと言ってきている。したがって、むしろそういう案をもし聞かないことにしようということだったら、私は席を離れますよ。もう無駄ですもの、このようなことをやっても。</p>
委員	私のせいで席を離れるというのは、本当にそれは悲しいので、やってほしくないと思います。
委員	一ついいですか。私も委員の案と関係することなので、前も私も言ったとおり、事務室と校長室の関係だって直っていない。会議室が目の前にある。備蓄倉庫が後ろにある。玄関からどうやって入ってくる。土足で入ってくるのかとかや。そういう細かいことを何かのときに詰めて、今、勝手にできるだろうと別々に言っているけれども、できることではないのではないですか。皆さんの意見はないということではないですか。そういうことを詰める時間はさらにあると私は思っていますよ。
委員	<p>それは私もやりたいと思います。個人的にはビオトープのことに非常に関心を持っているから、その話をしたくてたまらないですけれども、あえてそれは控えて、やはりこの日影の問題やレイアウトの問題が最初かなと専門の方から伺っているので、そのことに今、特化しています。</p> <p>この後、また多分、防災のことや教室や、事務室の配置や、ビオトープも含めてお話しできたらいいと思いますけれども、その期間が確保されているのか、</p>

	いないのかというのをできたら確認したいと思います。
委員	先生、決をとってくださいよ。
委員	私は、今日いただいたこの案は非常にいろいろないい点を、改善されたい点が多くあると認識しているのですね。それで、これを見た上でつくられたということですかね。そういう案ですか、今から見せていただく、見せたいとおっしゃっているのは、そういうことではないのですね。
委員	それは私は答えられないです。
委員	そうすると、自分のつたない構造の中では、こうやって一生懸命積み上げてきて、今この時点でこれだけ改善していただいて、日影のことについてもきちんと触れていただいて、かなり縮小された案で出てきているにもかかわらず、全く別の形で話し合いをまた考えてほしいということになると、またスタートに戻る感が非常に強いですね。
委員	私も同感だ。何で8回もやってきたのだ。
委員	<p>もうこれを基準にして、もう少しここはこうなっていくほうがいいのではないかやいうことであれば、これからの話し合いも意味があるのだけれども、それを新たに見せられた上で、というところからスタートするととなると、少し動揺が走っているのですけれども。</p> <p>それと基本的に埋蔵文化財も出てきてしまった上で、今、子どもたちは校庭で若干不自由をしていますよね。それは期間的にかもしれないですけれども。</p> <p>その後の工期も先ほどのお話だと長くなるというご意見も、その案の中にはなぜそうなるという事ですかね。そうすると、今いる子どもたちが本当に新しいところに入れないと半分ぐらいの子は思っているの、保護者もさほど「うちの子は卒業してしまうし」という感じで、意識が少し、関心があるかと思うのですけれども、もう少し下の学年の保護者にとっては非常に夢と期待を持ちながら「待っていたけれども、できるまでにずっと自分たちは校庭の不自由さを抱えて、ずっと卒業まで来てしまったのか」のようになるのも、私は将来の建物なので、将来続くようないいものにしたいと思いますけれども、今ある子たちにも期待と夢を持たせてあげないと、次につながっていかないと思っているの、どのぐらい工期が延びる案なのかも含めて、本当に動揺しているの、新たに提案されたらまた、少なくとも今以上に、先ほど委員がおっしゃったように、会議も延びますよね。今日、じゃあというわけにはいかないの、それに不安を覚えます。</p>
副司会	<p>今、いろいろ、これまでのプロセスのお話で、委員のお話も全くそのとおりでという面もあると思います。ただ、私、建築に大学でもかかわっている中で、比較の案が出てくる、そこで議論を重ねると、やはりよくなっていくというのがありまして、今回も石本建築事務所さんの案が非常によくなったというのは正直、思っております。</p> <p>ですので、例えば今、委員がおっしゃっている、この案でもう基本的にはと</p>

	<p>思いながら、思っていたのは全然問題ないと思うのですが、とはいえ、さっきどなたかがおっしゃったのだけれども、お父さんの会の案を見て、その中でいいところがあればとっていくことが可能であればとっていくし、一度、ここまで来て、そういう意味ではおっしゃるように出戻りがあっておかしいではないかとおっしゃるお話、よくわかります。したがって、何か少しもやもやした、最後というか、お父さんの会のご事情は多分、これまで事務局側からこういう諸元表が出たのが遅かったというのは正直、私、あると思っています。区を批判するわけではないのですが。そういう面も含めて、せっかく頑張られてきたので、見ることは見たいというのは正直なところですよ。やはりそれで、「やはりまあ」ということであればそれはそれかもしれないけれども、見たいというのが純粋な気持ちではあります。以上です。</p>
委員	<p>私も実は、みんなが動揺してしまうと思うのです。私自身が「何、今さら」という気持ちが99%なのです。1%は見たいなというのはあるけれども、その中で妥協できる点は我々、見る必要はないと思う。それを事務局とよく話し合って、取り込める範囲のものを取り込んでもらえばいいではないか。全てが全て、だめだや、どうのこうのではなくて、あなたたちの考えた中で。今、ここまで来て、これが去年のうちに持っているのなら問題ないですよ。ここに来て、今回か次回でやめようとはもう思っていますよ。どこまでこのようなのを引っ張っていくのだよ。たかだか学校の校舎の改築ぐらいで、と、私は思っている。昔はこのようにこのようにはかけなかったです、僕の時代には。</p> <p>そういうことで、要望として、事務局のほうで取り入れられるのは取り入れてもらえばいいではないか。そこで妥協してくれないといけないと思うよ。僕らも退去してしまいます。</p>
委員	<p>よくわかりました。委員の工期の話ですが、それは実は私たちの案を説明させていただくことができればですが、実は私たちの考えている工期の関係ですと、早く新校舎が使えることになるのですね。全体の工期は長くなるのですが、新校舎は早く建てられるので、早くできる。なぜかという、それは2回に工事を分けて、体育館と新校舎を分けて建てるからということなので、多分工期は延びるということだけでなく、中身もちゃんと検討して、それも比較すればもう少しいいアイデアになるかなと思います。</p> <p>今、委員がおっしゃったことは私もよくわかります。それはもしかして認識、考えのずれかなと思うのですけれども、私はもう少し長くここで審議してもいいのではないかなと思います。80年間ずっと長く建つ学校でもありますので、半年ぐらいでももう少し長くお話しすることができると、さらにいい学校ができるのではないかと。それはやはり80年ぐらいの子どもたちのためなので、できる限りいい案を考えたいなと思っています。</p>
司会	<p>大変まとめが難しいところなのですが、もう出ますということだと、懇談会にならないので、直接、委員の言うとおりのもう一度、教育委員会に届けていただいて、このところではおさめておくというところ。また、帰りに我々にも配</p>

	付していただくというところでいかがですか。
委員	<p>それでもいいですけども、実はこちらで公式に皆さんと一緒に話しできればいいなと思っていたので、それは私としてははっきり言ってがっかりです。</p> <p>実はもう既に教育委員会の方たちにこの案を見せていますし、それに対してのレスポンスもいただいています。彼らからもいろいろアイデアを実は伺っていきまして、それを反映した図面だと私たちは思っているのですが、そういう意味も含めて、もう既にこういう話は教育委員会さんたちと一緒に進んでいます。それもあるのですが、こちらのほうから皆さんにも共有できたらいいなと実は思っていました。</p>
委員	<p>私が言ったとおり、この場はきちっと片づけてここまで来ているのだから。教育委員会と話し合っただけで別にやればいけないか。誰も反対はしないと思うよ。その中で、ここで具体的にできていなかったことですね。いつでもできると言っているのだよ、内部の構造、配置については。したがってそれをそういうことから捉えてもらえばいいでしょうと。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>進め方について、いろいろ不手際があった件については本当に申し訳なかったと思います。</p> <p>今日出される保護者の会の有志の方のプランを見ていないので、何とも言えないのですが、工期が延びることについての影響の部分と、近隣への配慮の部分についてどうなのか。</p>
委員	<p>こういうことをやっているうちに説明し始めてしまうと、申し訳ないんですけども、了承を得ていなくても既に説明することになってしまうのですが、それでもよろしいのであれば、それに対して答えることにはなりますが、いかがでしょうか。</p>
委員	ぜひ聞きたいです。
司会	そこは配らないでお話してください。
委員	そのような話、議題にないことをやっているのではないですか。
司会	少しそれは。
委員	校長が何を言おうが、やはりイレギュラーなのだから。
委員	<p>私も退去しますよ、これは。だったら次回の時間を少しもらって。</p> <p>今日帰りにみんなに資料を渡して。受け取るかどうかはわからないですよ。渡して、次回のときに時間をもらえば、議題に入れてもらえばいいのではないかと。みんな聞く耳だけ持ってもらえば。</p>
委員	<p>実はそれをお願いしたのですが、教育委員会の方たちはやはりこちらのほうで先に議論してほしい、それでその議題に入れてもらえるかももらえないかということをご皆さんに審議してほしいということで、今、こちらのほうで提案させていただきます。</p>
委員	それは、私は無理だと思うのですよ。今話すのも無理だと思う。

委員	<p>プランニングではなくて、工期の話についてお話ししたいということね。ぜひ聞きたいですね。</p>
委員	<p>したがってそれは次回に。</p>
委員	<p>プランニングではなくて工期を短くやりたいということに対して、こういう代替案があるということをお話ししたいのでしょうか。プランニングは後で。せめて工期ぐらいはせっかく準備してこられたのだから。</p>
委員	<p>工期云々についての話になれば、当然それはこういうプランニングだからこういう工期になるということであって、工期の問題だけ説明があっても、それはあまり意味がないですよ。こういうプランだからこういう工期になるということであって、工期のことについてだけ、短くなりますよという話があったって、それはあまり意味がない。</p>
委員	<p>もっともですね。表面上もっともだね。</p>
委員	<p>したがって、それをやるのだったら、委員のお話もそうなのですが、何で今さらなのかというのが多分にあるのですね。要するに。したがって、事前に当然、今までも何度も何度も同じようなことを繰り返している印象があるのですね。要するに、この会議をやるたびに何か新しいものがまた出てきて、またそれについて振り出しに戻る形でやって、また修正して、これで行きましようと言って、また次のときにまた何か新しいものが出てくる。こういうことがあって積み上げていっていないということが多分に、今までのこの会議の印象が多いですね。</p> <p>したがって、事前に詰めておいてここに出してくるとすればよかったのになと。しかし、ある面で完成形に近づいた段階で、みんなやって完成形に近づいていた段階で、1回ずつよくなってはきているけれども、またそこに新たな要素を加えるというのが、何でまた今なのかということ非常に感じているのですね。</p>
委員	<p>一般論としてはおっしゃるとおりで、それに対してそのとおりだとしか言えないのですが、私はずっと今まで事務局にいろいろな提案をしてやってきて、全て握りつぶされてきたのですよ。事前にちゃんと打ち合わせをして、石本建築事務所とも打ち合わせを1回もさせてもらえない。それで来たとき、事務局が思った案に沿って行くようになっている。これはおかしいということで、最後にご奉公したいと思って、憎まれ口を言ってきているのですけれども、それは理解してくださいよ。</p> <p>要するに、こうやって決まってきたからそうだろう。それはそのとおりですよ。だが、常に思惑でうまく、私が言っても握りつぶされますから、ここで言うしかないのですよ。悪口を言っているつもりはないのですけれどもね。</p> <p>今、お父さんの会も一生懸命画策されてやっつけいらっしゃるようです。したがって、その案を聞くのがなぜ悪いのでしょうかね。</p>
委員	<p>私は遅すぎると言ったのです。その一点ですよ、悪いけれども。</p>

委員	<p>遅すぎるのはなぜかと言いますと、私、最初の会のときに諸元表というか仕様表をお願いしたのです。そのときにだめと言われたのですね。それが4月です。第1回ですよ。実際に出たのが12月です。それで今、頑張っって新しく条件を満たすものはできたのです。そのため、確かに遅いです。それは私たちも思っています。しかし、それははっきり言って私たちのコントロールできない部分もありましたので、申し訳ないと思っています。</p>
委員	<p>このメンバーがこれまでやってきた中で、自分たちの失敗をここに持ってきて、我々だったら今日解散しますという気持ちになりますよ、もう。だったら勝手にやれよと。何でここまで積み上げてきたのですか。その1点です。始まるのなら私も退去しますけれども。</p>
委員	<p>本来なら、おっしゃるとおり積み上げていくべきです。私、最初から事務局にお願いしていたのは、みんなで悩みましょうよと言っていたのです。事務局が全てストーリーを書かれていて。我々はずついていっただけだったのです。だが、これも頭に入れてくださいよ。これは要するに懇談会の意見としては、事務局が説明されたことしか書いてない。日照に対して問題があると言いながら、区が指摘したことになっているのですよ。皆さん、そうですか。私が一生懸命、指摘したのですよね。日照のことを一切やらないのはおかしいとずっと言っている。だが、これは区が初めて気づいたようなことが書いてある。これを気にしている。こういうのが、一事が万事だということを言っているのです。</p> <p>したがって、民主主義のプロセスとして、ちゃんと決めたことは決めたこと。私もA´-2は賛成しました。賛成しましたから、今さら違うとは言えません。というのは、皆さんが納得されたならば賛成しますと最初から言っていますしね。心の中では賛成だったのです。</p>
委員	<p>それでいいではないですか。</p>
委員	<p>今、遺跡か何かが出て、結局また調査の時間が延びているわけです。したがってその分、時間にバッファができていると思うので、それは何に使うのでしたっけ。</p>
委員	<p>時間の問題ではない。これまでやってきた労は何だったのですかと。</p>
委員	<p>結果として非常にいいものができて。</p>
委員	<p>それがいいかどうかは誰が判断するのですか。</p>
委員	<p>今日出てきている案というのは、少なくとも皆さん全会一致でよかったわけですね。今までで最もよかったと私は思うのですけれども、今から最初の案に戻ると、よく見たら、校庭の形はがたがたで、影も大きくて。それと比べて明らかによくなっている。あのとき、あそこで決をとらなくてよかったと正直思っているのですが、それはまずずれていないですよ。よくなっていますよね。</p> <p>なぜよくなったか。ぶつけたからだと思うので、時間がもうないと。今この議論をまた始めると、工期が大幅に延びて、皆さんが最も気にしていっしや</p>

	<p>る予算の話に直結するというのはわかるのですが、今出ていて、時間ができたので、その分議論してもいいのではないのかと。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>実務的な話になるのですが、延びたとしても、その間何もしないというわけではなくて、実施設計やさらに詳細な設計を進めたり、仮設のほうも準備はしなければいけないので、結局、延びたとしても事前のプロセス自体はあまり変わらず進める形になります。</p> <p>今回、2案も出しているところなので、議論自体を今日で終わることは難しいとは思っていたところなのですが、では4月以降もというような、ブロックプランも含めて4月以降までずれ込んでというのは、実務的には厳しいのは正直なところですよ。</p>
<p>委員</p>	<p>まして我々だって、あなたたちだって忙しいし、それぞれ忙しいですよ。もう疲れ切りましたよ。これははっきりして、みんなそうだと思うのです。後出し法で出てきて、それを認める方法なんてあり得ないですよ。民主主義の世の中では。みんなでたたき合って、事務局が、言ったとおりに確かに奇抜な案でしたよ、いろいろと。飲めるところもありました。だが、方向としてはみんなもそれに対して、賛成という声が出ない。したがって、事務局のほうでまとめをやってきた。私はそれに対して何ら不満なく、方向としてはいいなど。さらに言うのなら私の校舎改築の時代の年代のときにやったこの校舎の予算の決め方なんて、このような民主主義なことないよ。予算を決めるのは頭からぼささりです。それで「勝手にやれ」ですよ。こういう時代でした。昭和43年か49年。予算をやったときに、11年ですか、同じですよ。ここまで民主的になっていて、後出しで来るなんてこれは民主主義ではないですよ。忙しい、忙しいって、みんな忙しいのだよ。表に出しておしまいだよ。</p>
<p>委員</p>	<p>後出ししていることは確かに申し訳ないですけども、私たちのほうから、いろいろまたさっきと同じ説明になりますけれども、情報をいただくのも遅いのですね。それで本当にすぐ、できるだけ早く出そうと頑張っているつもりなので、そういう限界はあります。後出しになってしまうというのは、それはしょうがないのですが、実は私たち、また同じことを言いますけれども、コントロールできるものではないのですね。それは教育委員会から情報を得たり、やレスポンスをいただいてからやることなので。そういうことで少し遅れてしまって、間際に出るということに。</p>
<p>委員</p>	<p>私の言ったとおり、その件だったら事務局と話し合って、この席ではもうやめましょうよ。</p>
<p>委員</p>	<p>両方に理屈というか、言っていることに正当性があると思うのですね。時間がたっぷりかけられて、柔軟にもう少し議論してもいいということが認められるのだったら、理想的にはそれも一つあるかもしれない。だが、今回本当に頑張っているいい案が提示されているので、そういう案が出たことは、結局、お父さんの会がこの間提案された東側に寄せるということの、その可能性を含んで、取り入れてくれたからこそできた。したがって、お父さんの会のアイデアが入</p>

	<p>ったということも。</p> <p>したがって、どこまで日影の問題にこだわるか。僕は、この校舎の使い方が非常によく考えられていると思うので、これを東側に寄せたら、それと同等のものを獲得するのは非常に難しいと思っているので、これはこれで相当頑張っているところを取り込んだ案だと考えて。</p> <p>割れてしまうということが最悪なので。この会議が割れたとしたら、この弊害というのは後まで響くのでね。これで終わらないと思うのです。これからつくっていく上で、一緒に考えていくという。これが割れたら最悪の事態です。</p>
委員	<p>私は聞くところによると、さらにひどい図面を出してくるような言い方もされていた話を聞いているのですよ。それですと、お父さんの会の意見かどうかわかりませんよ、私は。要するに日照権の問題だけずっと大きくしているわけですよ。そのために校庭が変形になる。私はこのことが今出てきているのであれば、私、言おうと思っていたのですけれども。座長である校長は日照が大事なのか、学校教育、体育の授業が大事なのか、どちらですかと、副校長と校長に質問するつもりで、今日来たのです。そういう案が出たのであれば。しかし、今出た話の中で、一部知っている方は、取り入れてもらっているのではないかと。私はそこで妥協する気だと思いますよ。</p> <p>私が教えられたのは、運動場が変形になってしまっていて、これはおかしいと。それだったら私も教育委員会の一員でいた時代では何が大事なのですか。先生の待遇ですか、接遇ですか、子どもの教育ですかと言ったら、子どもの教育が優先でしょう。私、そればかり言ってきました。今回も、日照権、日照権、子どもの健康どうのこうの、それは最高の、ベストの状態です。そればかりができるわけではないでしょうと。今回見たら、多少改善がされているので、私はホッとした。今のみんなの話を聞いてですよ。したがって、あと細かいことは詰めればいい、事務局と。どうですか、みんな。</p>
委員	<p>説明したいとおっしゃる内容が、説明したい内容が、建物の位置、運動場の場所、そういうふうなレイアウト全般が根本的にかかわるものなのか。そうなのですか。</p>
委員	<p>そういうことです。</p>
委員	<p>それだと僕は反対ですね。それだったら反対ですよ。まだ変更①案でも②案でも、案ですから、幾らでも我々、注文をつけようと思っていますよ。委員もつけられると思うけれども。今まで話し合ってきたこの場所とりの問題、日影の問題も含めて一生懸命やった結果がこれなのではないかなと私は理解しているので、レイアウト全体を動かすような新しいアイデアをさらに話し合うというのは少し。</p>
委員	<p>レイアウトは基本的には同じものだと思いますけれども、全てを東のほうに寄せるといったことなのですか。</p>
委員	<p>ですね。そのため全てレイアウトを変えるということですよ。建物を動か</p>

	すということだから。
委員	基本的には同じようなことだと私は理解しているのですが。しかし、確かに少し違うということは確かです。
委員	なぜ変更①案と②案の中での変更にはおさまらないですか。
委員	そうですね。
委員	<p>いろいろ皆さんのお話を伺って、私も初めてのところが結構あったのですが、今回のこの案はすばらしいと思います。私が主張していたところもかなり入っているのですが、今回の案でもう完成してもいいぐらいではないかなと思っているのですが、この案をつくるに当たって、大分お父さんの会の意見も入っているようなお話もちらっと今の中で聞こえてくるのですが、それはすばらしいことだと思うのですよ。そこまで改善させたということ、ここまで持ってくること自体、もう我々の力ではできなかつたので、これはお父さんの会の力だと思う。これはすばらしいと思っています。</p> <p>あと、微調整という部分があるのであれば、これは今、委員が言ったように、お父さんの会と教育委員会で微調整していただければいいのかなという気はいたします。ここでさっき言ったように、またこの部分を根っこからひっくり返してということになると、一部おさまらない方も出てくるでしょうし、また混乱になってしまうのですけれども、その辺はまた教育委員会と続けていただけたらなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、皆さんが最も思っているのは、よいハードをつくろうというところ、そういう気持ちはみんな一緒なのですよね。しかし、先ほど委員が言ってくれたように、そのハードを動かすソフトのところでもめっちゃめっちゃになってしまったら、もう取り返しのつかないことになっていくと思うのです。ですので、委員には、今回この資料を出さないというところでおさめていただければと思うのですが。</p>
委員	<p>わかりました。一言いいですか。</p> <p>今の会話を僕は最も好きで、こういうことを実は最初からやりたいと思っていました。なので、今回説明できなくなりましたが、このお話というか会話は続けていきたいと思っています。こういうふうにフランクに話を聞くというのは非常に重要だと思いますし、皆さんのご意見もよくわかります、私も。それもちょうんと考えて、また次回の会にも参加させていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>もし、せっかくつくってあるのであれば、持って行きたい人が終わってから、置いておいて、次回に、見た結果、「これいいね」と言っても私の考え方は、大体、おおよそ地階にさらに持って行こうという気持ちの問題、高さを低くしようという問題ぐらいかなと思っているので、経費がかかるよと言っている。わかる？ 与えられた予算の中で、工期の中でやっていくことなので、もしそういうことであれば置いておいて、みんなが参考に、「なるほどな」というこ</p>

	<p>とでどうですか。そのくらいのことは、皆さん。</p> <p>何も今のあの案、何も誰も知らないで終わるよりも、聞きたい人はあそこで持って行ってもらえればいいのではないですかというのが私の提案です。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>ということでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
司会	<p>よろしいでしょうか。では、お帰りの際、もしそこから思いがある方は、持って行っていただきたいと思います。</p>
委員	<p>どうもありがとうございました。長い時間使ってしまって、申し訳ないです、本当に。</p>
司会	<p>それでは本題に入りまして、今度は資料2-1 変更①案のプランについて、もう少し議論を重ねたいと思っています。ここでのメリット、デメリット等あるかと思えますし、こういった修正案が、またはこういったところを取り入れてほしいというようなご意見をお願いしたいと思っています。</p>
委員	<p>日影のことの質問です。日影の検証の図がありましたが、これは専門家に伺ったのですが、日影図というのは地面から1.5メートル上がったところで決めることになっていると伺ったのですが、実際に今出ている図というのは、その1.5メートルから上の線なのか、それとも実際に地面に当たる日影の範囲なのかということ。それと、面積もありましたが、その件について確認したかったです。いかがでしょうか。</p>
石本建築事務所	<p>それでは私のほうから影についてご説明させていただきます。</p> <p>建築基準法上、第一種低層住宅専用地域につきましては、平均地盤面から1.5メートルというところがあります。ただ、ここに書いている日影図につきましては、校庭面に落ちるものだと思って見ていただければと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか変更①案、または変更②案と比べてということでも構いませんので、お願いいたします。</p>
委員	<p>変更案①、②を見ますと、両方ともすばらしいと思っています。先ほども言いましたように。要は、日影にずっとこだわっているつもりではないのですが、南にあったものを東のほうに詰めてのような形で、特に変更②案のほうです。ここまで来たら結構、お父さんの会と前回のA´-4に非常に近くて、もうひとひねりで東側にずらっとスライドとは言いませんが、どちらかという私もずっと主張している手前、①と②、どちらがいいかと言ったら、私は②のほうで、今日説明いただいたのは①のほうです。確かにレイアウトに関しては、やはり石本建築事務所の大手さんということで期待しておりますので、②のほうもさらに、今日説明していただいたとおり、それ以上の工夫をしていただいて、それから、実際に使われる、OBの方、それから先生方にヒアリングしていただいて、スペース、配置、それから先ほどから出ております防災関</p>

	<p>連の位置をどうするか。レイアウトそのものをさらに工夫していただければすばらしいものになるのではないかと思います。結論としては、②のほうを推したいと思います。できるだけ東側へ寄せるということを努力していただければと思います。</p> <p>それから、前回約束していただいていたのですが、そろそろ設備設計の段階に入ると思いますが、太陽電池をできるだけ屋根に並べるというフィジビリティスタディを次回出しますとおっしゃっていたのですが、今日は無理ですか。</p>
営繕係主査	<p>年末からご意見をいただきまして、変更案の検討をしまして、変更①、②案、今プールのところに太陽光発電ということで、少なくともそこは検討しているところなのですが、それ以外についてもできる限りというのは、もう一度、次回にさせていただければと思います。</p>
委員	<p>私がお願いしていましたのは、プールに置くのはあれなのですが、ネットを見ていただければ、ソーラーファームというのを引いてください。日本で、特に千葉などは、私はこういうものを見たのですが、農園の上に井桁を組んで、それに太陽電池が並べているのです。その下に野菜が植えてあります。木漏れ日から野菜は育っていきまして、エネルギーも売れる。それはソーラーファームという。ネットで調べたら多く出てきます。</p> <p>要は、プールの上に井桁を組んで並べる。そうするとプールの温度の上昇が少なくなりまして、今日は水泳禁止ということは少なくなるだろう。それと電気が売れるということ。それと日本は化石大賞などありがたくないものをCOP25でもらいました。通産大臣と環境大臣も。要するに、ヨーロッパの先進国から、日本は後ろ指を指されているのです。</p>
司会	<p>少し短めに。</p>
委員	<p>次回、期待しております。</p>
営繕係主査	<p>プールの上に屋根のような機能を持ったときには、そこに関しては下に生徒が使う空間があるということで、用途上面積が発生することを、確定ではないのですが、建築の審査をするところから話をいただいています。今、太陽光発電、ひさしと記載していますが、その下も面積カウントしております。</p> <p>先ほど計画の段階で、建ぺい率、容積率、厳しいという話があったと思うのですが、プールの上にかげられる面積については、延べ床面積で余った分にならざるを得ないのかなと感じております。</p>
委員	<p>体育館の屋根や、デッドスペースが多く出てきます。</p>
営繕係主査	<p>西側はなるべくあけるといことで、実は屋上の面積がどんどん小さくなってきていまして。</p>
委員	<p>図面を書く必要はないです。フィジビリティスタディだけを書いていただいて。ぜひ期待しています。</p>
司会	<p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>私は、この①と②に惑わされたわけではないのですが、子ども目線で考えた</p>

	<p>ときに、①非常によく考えられているなというのを、少しお話しさせていただきたいなと思います。</p> <p>まず、図書室の位置ですが、②は1階の体育館に近いような、倉庫のそばのようなどころにあるのですが、①は2階の子どもたちが、非常に動きがいい。やはり図書室は非常に大事な場所です。先ほどの最初の説明のときには、少し狭くなったけれどもという話がありましたが、基本の容量を満たしているようなので、ここの配置は非常にいいなと思っております。</p> <p>そして、地下に音楽室という提案があったと思います。これはやはり杉二の現状、楽器の移動や何やという今の実際のことがよくわかって配慮され、非常にいいなと思います。こういう楽器が多い学校では、おろしたり運んだりが非常に大変なのです。なので、この位置も、いずれ防音装置なので、地下であっても支障がないかなということで、この配置もすばらしいと思っています。</p> <p>あとは体育館が、前の案のときには少しひしゃげた図になっていたところがスキットおさまっているところが何よりも、私はやはりこうあるべきだなと思っていたので、そこが改善されているのも非常にいいなと思っています。</p> <p>少し気になるのは、専科教室を1階に固めてはあるのですが、できれば、こういう内部のことは後で幾らでも操作ができると思うのですが、理科室はやはり教材園に出られるような形にしてもらいたいのので、自動的に家庭科室は校庭の砂埃など来てほしくないの、ここを入れかえるぐらいの配置が考えられると、子どもたちも快適に過ごせるのではないかなと非常に思いました。</p> <p>いいところが多くあったので、よかったなというのと、あとはやはり、いつか見させていただいた、この地域は児童数が増えるという予想が立っていたので、いつでも転用できる、少人数か多目的室のような①の案のほうが、後で混乱を来さないかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>お伺いしたかったのですが、何度も同じことなのですが、非常に今まででベストだと思っています。その上で質問です。</p> <p>例えば①案だと、最も北側のずっと日影になっているところに遊具と学校菜園を置かれているではないですか。菜園というのは普通に考えると、日が当たっているイメージがあって、畑いじりをするのに暗いところでやるのも教育上どうなのだろうと考えると、ここをあえて最も日の当たらない北に持ってきた理由というのか、この辺を逆に南西側に持ってきたほうが校庭にも光がより当たるし、東側に全てフラットになるかはわからないのですが、さらに東に寄せられるということがあり得ないのかなと思って、あえてここに持ってきた理由をお伺いしたいのですが。</p>
石本建築事務所	<p>今、そちらのほうの工夫について説明したいと思っております。この図の右下にNと書いてある部分、若干振れています。冬であれば菜園は日影がという</p>

	話になるかもしれませんが、実際、育てるのも、収穫したりするのも、秋までかなということから考えると、あまり影が実際かからない状態であることは確認しています。
石本建築事務所	<p>この上の左側と右側があるのですが、左側が8時から16時までを重ねた絵になっています。ちょうど今、差しているところが北側の部分なのですが、これが秋分の9月のころで、1日の動きを見ると、北側の庭園のほうには影がかからないことが確認できます。</p> <p>ちなみに、夏至になると、今度は太陽の位置が南よりさらに上に上がりますので、日影の向きは若干下のほうにはみ出始めるという形になっていますので、夏についても影がかかることはないということが確認できています。</p>
委員	ありがとうございます。そういう意味では、ある種、ディフェンシブな意味では理解ができたのですが、逆にこの南西側に置かない理由は何かあるのでしょうか。
石本建築事務所	こちらは近隣に配慮して、日影のことで後退させている。ここについては学校さんとも話をしながら、防災的に使うのがいいのか、あるいはやはり菜園や、そういったことについては今後整理していきたいと思っています。
委員	資料2-1のちょうど真ん中ぐらい、校庭から下、家庭科室。ここも多少は設備関係が必要になってくると思うのです。なぜここが飛び出して、理科室の隣に来ないのか。ましてや、逆に言うと、学校防災倉庫なんていうのは校庭からすぐ入れるところにあったほうが便利であると考えていくと、これを入れかえてもらって、可能な限り前に持って行くとしてももらえれば、土足で上がらなくて済むことになるので、これは検討していただければいいかなと思っています。以上です。
石本建築事務所	参考にさせていただきたいと思います。今、この時点で説明不足なところがあったのですが、家庭科室は防災にも使うということも実は考えています。
委員	そういうときには後ろでもいいではないですか。災害のときに。日常使うときには北というの。
石本建築事務所	<p>参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>理科室の話もございましたが、理科室についても、南側の小庭がとれるかなというところも生かすや、そういった工夫もしていきたいと思っています。</p>
委員	もう1点。前にも要望しました。玄関昇降口のところに事務室が飛び出している。事務室は受付業務も多少はあるけれども、今、学校でやっているのはそのようなつもりの職員はいません。会議室と事務室を入れかえてもらうのが最もベターではないのですか。そこを使う一般の人も、職員の方も使うのであれば、離れても何ら問題はないと思います。ここも検討してもらえればありがたいです。
宮繕係主査	今いただいたお話は家庭科室の隣の準備室でしょうか。
委員	いやいや、そうではなくて、事務室と会議室。校長室の前にあるでしょう。

	<p>この位置をかえていただいたほうがいいのではないですかと。やはり校長でも職員でも、事務室に何が欲しい、こうして、ああしてほしいというのはそうする。ここに事務室を置いたのは、現実には事務室で受付などしません。ましてや地下から上がってくるのだから。そこで終わっているはず。この目的だって、受付は昇降口だから置いておいて、させようということですので。今は、職務分担は確かなはずです、そのようなことは。したがって、場所的にもちよほど1階なので、これを動かしてもらって、教育相談室や、そここのところを考えたほうがいい、ここのレイアウトを考えたほうがいいと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>今のそれぞれの部屋割りをどうするかのような話も当然あるのですが、日影という観点からすれば、変更②のほうがいいです。①と②を比べれば、日影という部分で考えれば、②案のほうがぐっと縮まっている。それは全体的に東側にずらしているという、ずらして北側に伸ばしているということになると思うのです。</p> <p>したがって、①案で行くのか②案で行くのかというのをまず決めた上で、部屋割りをどうするかとしていかないと。部屋割りはある意味、語弊がありますが、どうにでもなるのではないかと思うので、東側にずらして、北側に伸ばすという、こういうLにするのか、どう配置するのかということを決めたほうが私はいいように思います。</p>
司会	<p>ありがたいです。論点整理をしていただいて。</p> <p>では、副司会、お願いします。</p>
副司会	<p>まさに今のことに関係して、もちろん外から見た形にも影響しているのですが、大きい点がやはり教室周りのスペースに関してかと思っているので、変更①案だと教室の周り、学年スペースや多目的スペースがなるべく固まりになっている。変更②案は、これだとそのスペースに関しては少し少なくなっていると思うのですが、これを先生からの目線で、どちらが教育としてやりやすいかというのをまず伺いたいと思います。</p>
司会	<p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>まずこの2つの案を見てすごく衝撃を受けました。本当にすばらしいなと思って、ここが出てきたのは先ほども出ていたとおり、お父さんの会であったり、そのほかいろいろな方々がアイデアを出し合ってつくってくださったというのを聞きしております。その全ての方々に本当に感謝したいと思っております。もちろん、この会でいろいろ議論したこともここに反映されていますし、そういう意味では、学校としては感謝しかないなという図面を見せていただいております。</p> <p>そうした中で、①案と②案ということで、どちらもすばらしいのですが、内容的には僕は①案のほうが使い勝手がいいかなと思っています。</p> <p>というのは、5クラスになることがもう既にわかっている状況がある中で、</p>

	<p>5クラス、4クラスが並んだときに、②案になってしまうと、本当に飛び地になる形になります。もちろん階をかえれば大丈夫かもしれないのですが、やはり①案のほうは教育的な考え方で言うと、学年スペースを確保していたり、また避難的なことを考えると、階段も3つあって、トイレも2つあって、水飲み場だったりいろいろな流しのこともここには書いてないですが、多分そういうスペースも余裕があってできるのではないかと思っておりますので、日影のことが若干、①よりも②のほうがいいのはわかっているのですが、使うほうで考えると、このぐらいのスペースがあったほうがよりいいのではないかなというのがまず1つ。</p> <p>それから、最上階に教室が来ることで、前任校では4階建てで非常に暑いのです。それは全ての教室があった中でもすごく暑い。4階がどれだけ暑いかというと、多分エアコンをずっとかけっぱなしにしても結構きつい状態になるということ。それから、縦のラインが長くなるので、移動に難があるかなというのがまず1つ。</p> <p>それから、①案のほうは1階部分が特別教室になっていることで、万が一、不審者が入ってきたときも、大概1階から入るわけで、そういう意味では普通教室が全て2階以上になっていることと言えば、そういう安全性も少し担保されているかなと。</p> <p>願わくば、ここには書いてないのですが、ベランダや何かがあると外側から逃げられるようになっているのですね。自分がいたところもそうだったのですが、不審者対応などの訓練をするときにも、立てこもったときに外側から違う教室に逃げて助かるという訓練もさせていただいたのですが、今の構造上だと、なかなかそれができないのですが、そういったものも念頭に考えていただけたらもうこれ以上のことはないかなと思っています。本当にすてきな案をありがとうございます。</p> <p>私としては、①案のほうを使いやすいのではないかと思います。ありがとうございます。</p>
司会	委員。
委員	<p>ありがとうございます。矛盾することを2つ言います。</p> <p>1つは、両方の案で北側にもう少し建物を伸ばすことができないかということをお聞きしたいことと、あともう1つは、私のコメント、少し矛盾していることなのですが、私は実は最初の案が非常に好きで、なぜかというビオトープが公園の隣にあって、畑もあってということで、先ほどの石本建築事務所の絵もありましたが、要するに緑がグリーンベルトでつながっているのですね。公園から本当に神社までつながっているのが本当に素晴らしいなと思って、それは私の夢そのものを現実にしたような感じなので、それは本当に推したいと思います。</p> <p>なので、②案のほうですと、今、防災倉庫がありますが、それを地面の下に埋めているということだと思うのですが、1つはそれが今の体育館から離れて</p>

	<p>しまうという欠点があるのと、あとはそこにあることによって、私が想像したビオトープというのは棚田のような感じで、そこで実際に勾配を使ってうまく水が流れて、そうすると昔の地域の風景が戻ってくるかなと。少しでも棚田があって、田んぼがあってということを実現することができるような場所かなと思って、この①案は非常にいいかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
営繕係主査	<p>まず北側に伸ばすという件につきましては、設計の与条件として既存の校舎を残したまま1期工事で改築するというはこのラインが限界ということで、私どもは最初から北側から約23メートル離れたラインというのを設定しておりますので、これ以上伸ばしてしまうと、校舎に当たってしまうというところでございます。</p> <p>それから、変更②案の防災倉庫につきましては、学校菜園の下に計画しておりますが、この防災倉庫というのは、この学校で使う防災倉庫ではなくて、今、南東の角にあります地域のための防災倉庫をイメージしておりますので、ここは体育館の横ではなくて、別棟で、むしろ緑地側とフラットに入れるようなところにあったほうが今までとの使い勝手は同じでいいのではないかとということで場所としては計画しております。</p>
委員	<p>皆さん、おっしゃるとおり、変更①案は本当によくできていて、さらに日影の減少を改善するために、ある意味でお父さんの会の提案に近い、それに寄せると変更②案になると。さっきからご指摘があるとおり。まさにそうだと思うのですね。</p> <p>だが、そうすると、校舎の中のいろいろな機能にしわ寄せ、弊害が来てしまう。5つぐらいありそうですね。少人数教育の教室がうまくとれないや、上下の移動が激しくなる、4階を使わざるを得ないや、いろいろな問題が生じてしまうので。それと、ビオトープも①案のほうが緑地とつながっている場所に置かれているので、はるかにいいということで、日影が完璧にはいかないけれども、教育環境としてはトータルで考えると変更①案が圧倒的にいいのではないかとこの気がします。</p>
司会	<p>ありがとうございます。そのほか。</p>
委員	<p>もう1点だけ。これはお願いではなくて要望なので、検討してみたらどうか。というのは、私、先ほど言った事務室の話です。</p> <p>ここ全体をもう少し考えたほうが使いやすくなるのではないかなと。校長室の隣に保健室がなぜ必要なのか私は専門的にはわかりません。右のほうに行くと、印刷室、会議室、教育相談室や、事務室とばらばらになっているのをどこかうまく整理できれば、さらにいいものになるのではないのかというのが私なりに感じたことです。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p>

委員	学校側が考えることだね。
委員	そうですね。学校側に考えてもらったほうがいいですよ。
司会	十分に職員と相談したいと思います。 そのほかよろしいでしょうか。 では、お願いします。
委員	先ほどの説明で、北側にこれ以上伸ばすことが難しい。なぜかと言うと今の既存の校舎にぶつかってしまうということなのですが、反対にこれを、これでまたくつがえすという話になってしまいますが、工事の期間を2回に分けて先に体育館をつくれば、新校舎が先に使えることになるから、そういうこともこの場で検討できないかと、ご提案したいと思います。それは難しいでしょうか。
委員	北側に建物をつくるというのは、やめたほうがいいと思うのです。いろいろありまして。いろいろ問題が。
委員	わかりました。
委員	伸ばすというのですけれども、伸ばしてどうするのですか。非常にきれいにはまっているのに、わざわざここを伸ばして、何をつくるのですか。
委員	伸ばすことによって、今、南側にある面積をもう少し減らすことができるのではないかという考えです。そうすれば、日影が減るのではないかという理由です。
委員	僕は毎回、この話は差し込まなければいけないなと思って、最後に言うのですが、この説明会のほうのQ6に出ている公園の利用のところをぜひご検討いただきたいなと思っていまして、これは改築と関係ないようにも見えるのですが、一番のステークホルダーである今の子どもたちのケアがどうしてもこのままだと薄くなってしまうので、代表として一応言わざるを得なくて、今でも既に週2回しか使えていなくて、お昼と放課後と1回ずつなのです。子どもたち、結構今ストレスフルな環境に既になっているのです。これだけいい環境が、たまたまですが、あるので、これを使わない手は、僕はないと思っていまして、都の管轄だということなのですが、これを読むと、使い方によってはいいよと書いてあるわけなので、先生方のオペレーションは非常に大変だとは思いますが、そこに関しては何とか考えていただけないかと。
委員	それは無理ですよ。あの一般の利用の状態から見て、それは地元から苦情が出ます。
教育施設計画推進担当係長	これについては、どのエリアがいいのかなど、東京都とは粘り強く話はしていきたいと思います。先ほどあったストレスフルというのはおっしゃるとおりで、非常に工事が長くなると、子どもさんたちのストレスは増えてきますので、それについては極力配慮していきたいと思います。
司会	ありがとうございます。 時間が過ぎてしまいました。これまでの議論を総合すると、やはり変更①案が最も評価を得ていたのかなと思います。懇談会の意見として、変更①案をベ

	<p>ースに今後検討を進めるということによろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第3、その他について事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	(事務連絡)
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは最後に学校整備担当部長の中村様よりお願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>中村でございます。本日は長時間にわたり、活発な熱いご議論をありがとうございました。</p> <p>私、今日もう1回確認させていただいたことがあります。ここにいらっしゃる方は全員、この杉並第二小学校の子どもたちのほうを向いているな。今のことも、それから将来のことも全てです。その熱い思いを本当に感じて今日は帰ることができるなと思っています。</p> <p>もう1つは、ちょうど中ごろで、さまざまな熱い議論がありましたが、そういった同じ方向性を向いている皆さんが割れないでよかったなど。これが2つ目の感想でございます。</p> <p>この間、役所もさまざま、時間をかけていろいろな案を出しましたが、最後は皆さんのお声を聞いて、12月の懇談会もそうでしたし、お父さんの会からも日影に関するさまざまなご意見をいただきました。そういったものを加味して、今回は2案出させていただいて、その中で一定の方向性、①案という形でまとめさせていただきました。私も大変勉強になったなど。さらに皆さんのお声を聞いて、皆さんのほうに視線を向けてこれからもやっていく必要があるかなど。先ほど委員のほうから、昔はなかなかそうではなかったという話もありましたが、今はこういう時代だということでございます。そういった意味で私も大変勉強になったなと思います。</p> <p>本日、さまざまな細かいところでも宿題をまたいただきましたので、そういったことも含めて3月、改めて懇談会に臨んでまいりたいと思います。本日はありがとうございました。</p>